

大阪府工業指数2023年5月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…93.7 前月比 3.1% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、金属製品工業など9業種が上昇し、化学工業、食料品工業など5業種が低下した。

品目別にみると、鉄道車両部品、産業用アルミニウム製品等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、3.2%と2か月ぶりの上昇となった。

(2) 出荷指数…87.4 前月比▲1.8% 2か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、化学工業など7業種が低下し、金属製品工業、電気・情報通信機械工業など7業種が上昇した。

品目別にみると、ショベル系掘削機械、電動アシスト自転車等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、1.4%と9か月ぶりの上昇となった。

(3) 在庫指数…104.4 前月比▲0.8% 5か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、金属製品工業など11業種が低下し、生産用機械工業、汎用・業務用機械工業の2業種が上昇した。

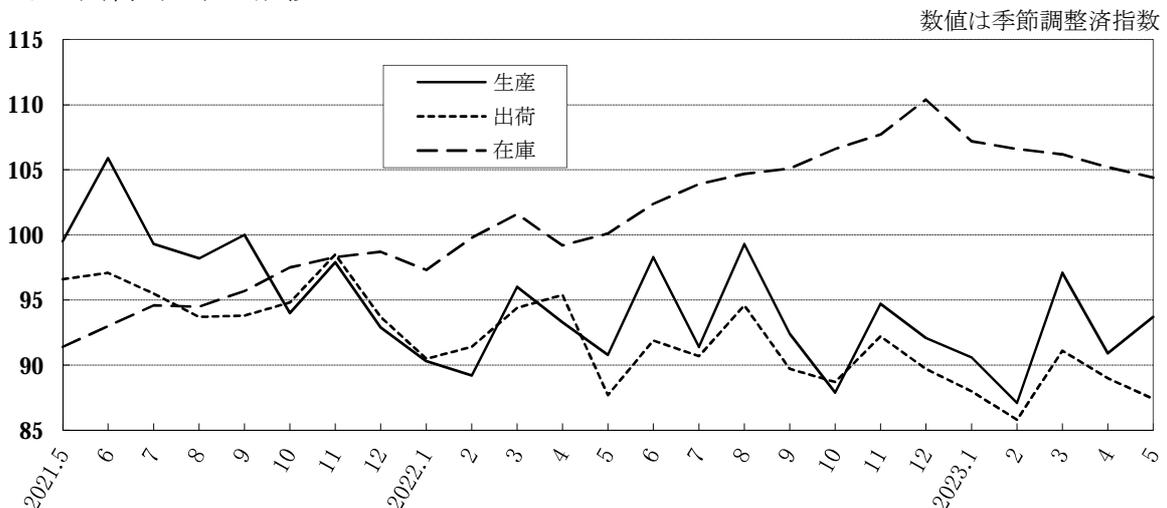
品目別にみると、乾電池、産業用アルミニウム製品等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、4.3%と21か月連続の上昇となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2023年4月	90.9	▲ 6.4	91.2	▲ 2.6
	2023年5月	93.7	3.1	87.6	3.2
出 荷	2023年4月	89.0	▲ 2.3	86.9	▲ 7.3
	2023年5月	87.4	▲ 1.8	82.4	1.4
在 庫	2023年4月	105.2	▲ 0.9	105.0	6.1
	2023年5月	104.4	▲ 0.8	106.5	4.3

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産

前月比

3.1%

上昇 9業種
低下 5業種
横ばい 0業種

計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	1.236	18.0	鉄道車両部品、自動車用機関部品(除. ガasket)
	金属製品工業	1.195	15.7	産業用アルミニウム製品、橋りょう
	電気・情報通信機械工業	0.352	3.6	非標準変圧器、陸上移動通信装置
	汎用・業務用機械工業	0.318	4.4	汎用内燃機関、ポンプ
	生産用機械工業	0.317	2.8	超硬工具、プラスチック加工機械
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.260	4.0	鉄鋼切断品、鍛鋼品
	電子部品・デバイス工業	0.176	16.0	アクティブ型液晶パネル
	その他工業	0.138	2.4	木製家具、ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下)
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.002	0.1	段ボールシート
	その他の上昇した品目			
低下	化学工業	▲0.417	▲1.7	医薬品、柔軟仕上げ剤
	食料品工業	▲0.303	▲3.2	ウイスキー、チョコレート
	石油・石炭製品工業	▲0.229	▲17.0	軽油、ナフサ
	窯業・土石製品工業	▲0.124	▲5.3	光学用ガラス素地、耐火れんが
	プラスチック製品工業	▲0.022	▲0.5	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製パイプ
	その他の低下した品目			

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	鉄道車両部品	輸送機械工業
	2	産業用アルミニウム製品	金属製品工業
	3	超硬工具	生産用機械工業
	4	橋りょう	金属製品工業
	5	汎用内燃機関	汎用・業務用機械工業
	6	非標準変圧器	電気・情報通信機械工業
	7	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	8	プラスチック加工機械	生産用機械工業
	9	装輪式トラクタ	生産用機械工業
	10	陸上移動通信装置	電気・情報通信機械工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	金属工作専用機	生産用機械工業
	3	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	4	化学機械	生産用機械工業
	5	ウイスキー	食料品工業
	6	シヨベル系掘削機械	生産用機械工業
	7	試験機	汎用・業務用機械工業
	8	チョコレート	食料品工業
	9	軽油	石油・石炭製品工業
	10	プラスチック用金型	生産用機械工業

(2) 出荷

前月比

▲ 1.8%

上昇 7 業種
 低下 7 業種
 横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	金属製品工業	1.171	14.2	産業用アルミニウム製品、橋りょう
	電気・情報通信機械工業	0.161	2.4	非標準変圧器、開閉制御装置
	その他工業	0.144	2.6	マーキングペン、 ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下)
	石油・石炭製品工業	0.044	0.5	重油、ガソリン
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.039	2.7	段ボール原紙
	窯業・土石製品工業	0.037	2.3	無アルカリガラス基板、 ファインセラミックス(構造材)
	電子部品・デバイス工業	0.002	0.3	電子回路基板
	その他の上昇した品目			鉄道車両部品【輸送機械工業】、 超硬工具【生産用機械工業】
低下	生産用機械工業	▲1.182	▲11.1	ショベル系掘削機械、金属工作専用機
	化学工業	▲0.956	▲6.3	柔軟仕上げ剤、化粧品
	輸送機械工業	▲0.821	▲9.3	電動アシスト自転車、完成自転車
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.392	▲3.3	亜鉛めつき鋼板、特殊鋼冷間仕上鋼材
	プラスチック製品工業	▲0.231	▲5.3	プラスチック製機械器具部品、 プラスチック製容器(中空成形)
	汎用・業務用機械工業	▲0.092	▲1.3	汎用内燃機関、油圧機器
	食料品工業	▲0.088	▲0.9	ウイスキー、清涼飲料(除. 炭酸飲料)
	その他の低下した品目			ナフサ【石油・石炭製品工業】、 化学機械【生産用機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3) 在庫

前月比

▲ 0.8%

上昇 2 業種
 低下 11 業種
 横ばい 0 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	生産用機械工業	0.830	43.2	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	汎用・業務用機械工業	0.157	1.4	汎用内燃機関、ポンプ
	その他の上昇した品目			電動アシスト自転車【輸送機械工業】、 柔軟仕上げ剤【化学工業】
低下	電気・情報通信機械工業	▲1.577	▲8.0	乾電池、セパレート形エアコン(室外)
	金属製品工業	▲0.493	▲4.6	産業用アルミニウム製品、 飲料用アルミニウム缶
	石油・石炭製品工業	▲0.449	▲15.2	軽油、灯油
	食料品工業	▲0.295	▲7.9	チョコレート
	化学工業	▲0.167	▲1.0	界面活性剤、合成洗剤
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.136	▲8.4	段ボール原紙
	その他工業	▲0.103	▲1.8	繊維板・パーティクルボード、 医療・衛生用ゴム製品
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.084	▲0.4	銅荒引線、鉄鋼切断品
	輸送機械工業	▲0.049	▲3.2	輸送機械用エアコン(除. 乗用車用)
	窯業・土石製品工業	▲0.044	▲3.8	安全ガラス、無アルカリガラス基板
	プラスチック製品工業	▲0.016	▲0.5	プラスチック製パイプ、プラスチック製建材
	その他の低下した品目			LED器具(除. 自動車用)【電気・情報通信機械工業】、 パッケージ形エアコン【汎用・業務用機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移

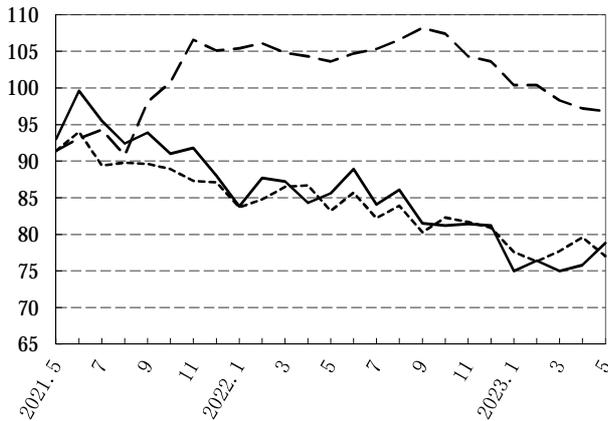
数値は季節調整済指数
2015年=100

生産 ————
出荷
在庫 - - - - -

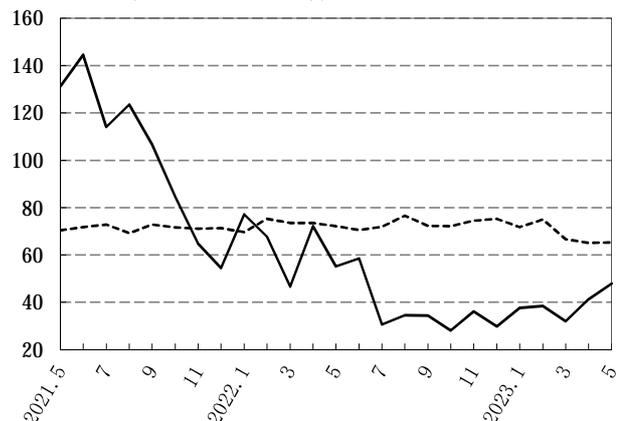
汎用・業務用機械工業



鉄鋼・非鉄金属工業



電子部品・デバイス工業



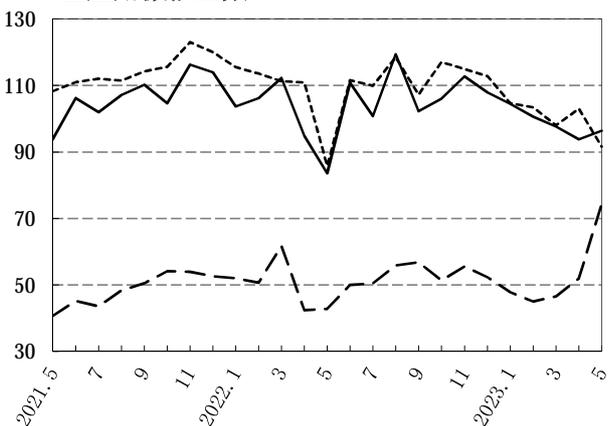
金属製品工業



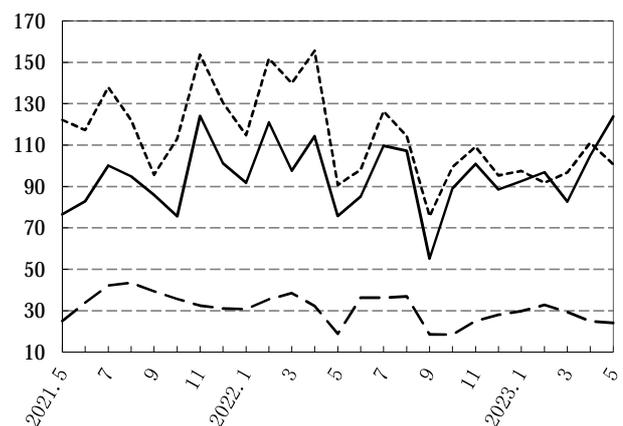
電気・情報通信機械工業

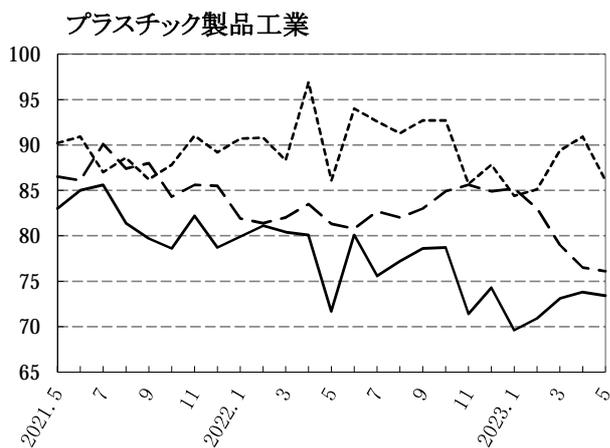
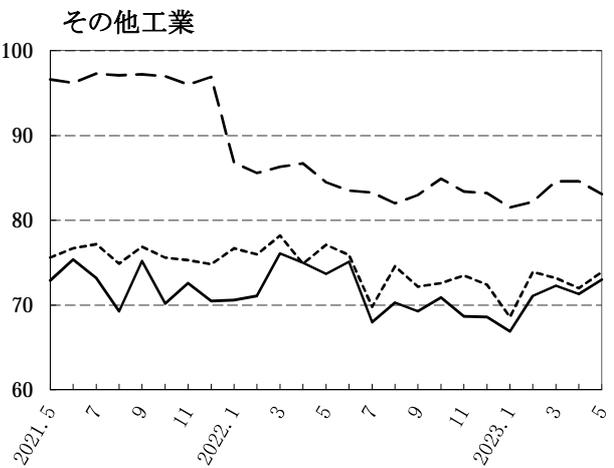
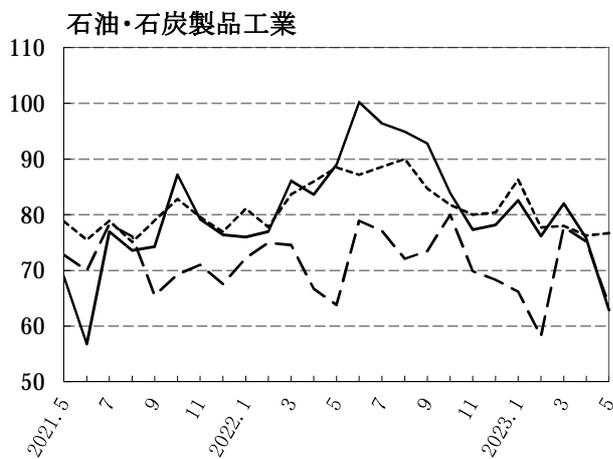
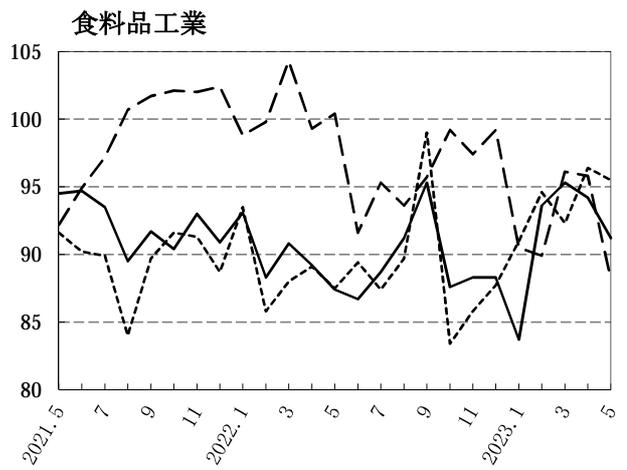
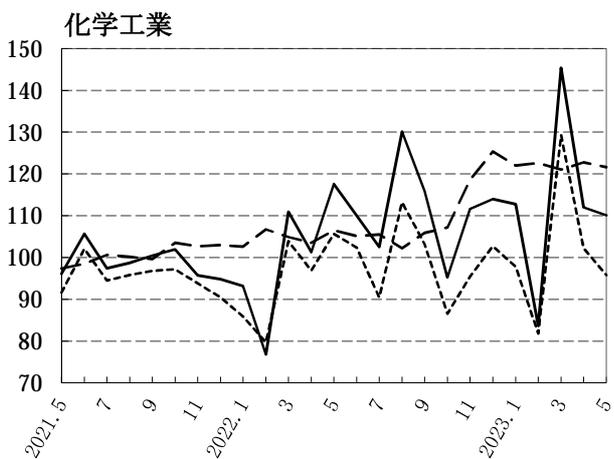
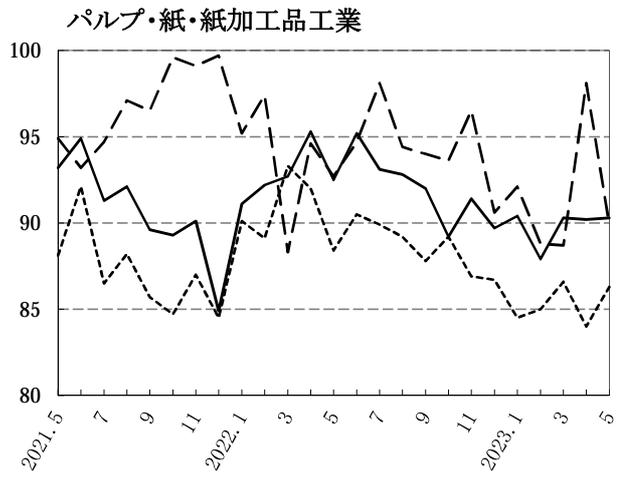
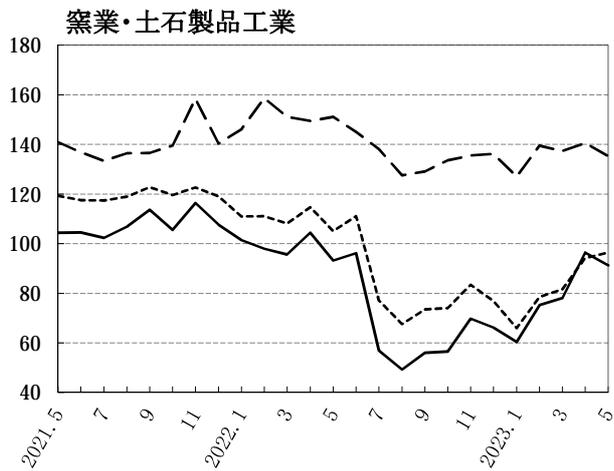


生産用機械工業



輸送機械工業

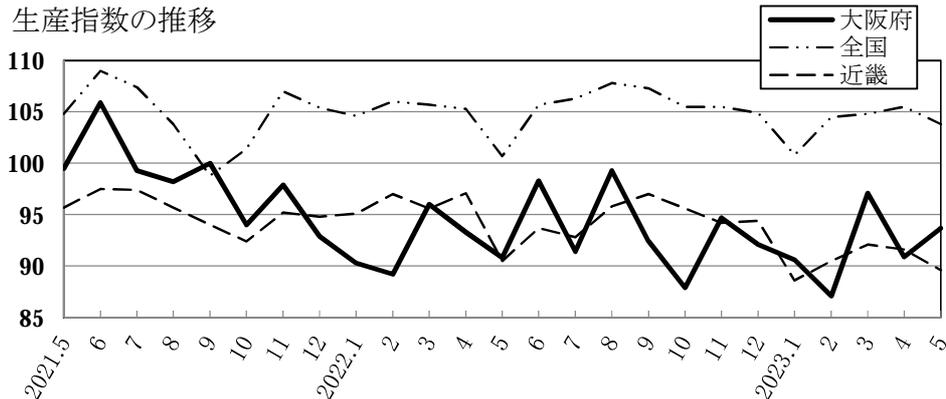




4 全国・近畿の状況(速報)

	大阪府 (2015年=100)		全国 (2020年=100)		近畿 (2015年=100)	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	93.7	3.1	103.8	▲ 1.6	89.6	▲ 2.2
出荷	87.4	▲ 1.8	103.9	▲ 0.6	89.6	▲ 1.0
在庫	104.4	▲ 0.8	105.3	1.5	104.2	▲ 0.3

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2015年(平成27年)です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成31年1月速報(2019年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間ではほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2021年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2022年7月速報(2022年9月30日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2022年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)